

「三日行事」とその意義

儀式前の立場

女性:メシヤの妻の立場 男性の母の立場
男性:天使長の立場

儀式の意味

1日目

儀式を通して、蘇生期段階の罪なきアダムとして重生(生み変えられる)する。

女性:母
男性:息子(蘇生期段階における罪なきアダム)

2日目

女性は結婚の準備ができた成人したエバ(墮落前の真のエバ)の立場となり、男性は長成期段階の罪なきアダム(成人したアダム)として長成期完成級に至る。

女性:結婚の準備ができた成長したエバ
男性:成人したアダム

3日目

長成期完成級で墮落したので、その段階まで成長した男性が主管性を復帰する儀であり、理想とるための儀式である。

女性:本然の妻
男性:本然の夫

事前準備

- ・なるべく妊娠しやすい時期は避ける。
- ・聖別された場所を選ぶ。
教会から聖塩という塩をいただき、手順に従って部屋を清る。

必要なもの

1. 真尊影(真の後父母様のお写真)
2. 天一国聖燭と聖マツチ
3. 天一国聖塩
4. 聖巾 それぞれ1枚ず
5. 聖巾を浸す器
6. 式服
7. 天地人真の後父母様の座布団

三日行事手順

1日目

- 1) 聖巾の式（最初に女性、次に男性が行う）。
 - ①浴室に入り、体を洗う
 - ②次に容器に水を取り、その中に聖巾を浸す
 - ③聖巾式の祈禱をする
 - ④聖巾を使って体全体を頭から順に拭う
 - ⑤容器の水が残った場合、捨てずに、翌日冷水を追加して使用する
※布は3日目まで洗わず、容器にて保管する

- 2) 式服を着用し、真のご父母様のお写真の前に立つ。
（女性が右側、男性が左側に立つ）
 - ①天一国聖燭に点火（女性）
 - ②聖歌賛美
 - ③天地人真のご父母様に一拝敬礼をする（一番深い敬礼）
 - ④祈禱：まず女性、次に男性（三日行事を始める感謝の祈禱）

- 3) 次に女性は、真の父と真の母の場所の間に座る。
 - ①お写真に背を向け、男性と向かい合う事になる
 - ②男性は女性の前に立ち、三拝敬礼する
 - ③その後女性にひざまついて黙禱
 - ④女性は立ち、男性の頭上に手を伸べて祈禱した後、蠟燭を消す
 - ⑤女性上位で愛の行為（写真に足が向かないように）
 - ⑥式服を着用
 - ⑦天一国聖燭に天火 男性が女性の前に一拝敬礼する
 - ⑧女性が感謝の祈禱
 - ⑨天一国聖燭を消す

2日目

1日目と同じ。

3日目

- 1) 聖巾の式 男性が先、女性が後（1日目、2日目と順番が逆になる）
容器の水は残ったら体に振りかける。その後容器に戻して、行事が行われる部屋に置く。
- 2) 式服を着用する 男性が右側、女性が左側に立つ（こちらも逆になります）。
 - ①天一国聖燭に点火する
 - ②聖歌賛美
 - ③天地人真の父母様に一拝敬礼する

- 3) 男性と女性は向かい合って同時に三拝敬礼をする。
- 4) 向かい合ったまま、男性が祈禱。
- 5) 男性の祈禱の後、その祈りに応えて、女性は妻の立場で祈禱（答礼祈禱）。

- 6) 男性上位で愛の行為。行為後は、それぞれ自分の聖巾を使用して自分の下部を拭う。
- 7) 式服を着用し、前と同じ位置に立ち、天一国聖燭に点火して、女性が男性の前に一拝敬礼する。
- 8) 男性が、三日間の感謝の祈禱をする。

※ 愛の行為は、挿入して射精が原則です。